

議会だより



あやがわ



第5回あやがわ発 子供まつり「お仕事体験」
(9月13日 旧羽床上小学校)

2015

NO. **38**

平成27年10月22日

定例会のあらまし・代表監査委員の意見	2~3P
(平成27年度補正予算など)	
4委員会報告・協議会報告	4~7P
一般質問に7人が質問	8~11P
行政視察研修報告	12~13P

総合運動公園陸上競技場改修工事に

1億4882万4000円

9月定例会は、9月9日

日から15日までを会期として開催した。第1日目には、町長による議案13件・諮問1件・報告3件の提案理由の説明後、長尾代表監査委員より平成26年度決算報告があった。

また、一般質問には7議員が登壇し、「人口減少対策と職員提案について」等、執行部の考えを質した。

提案された議案は、関係常任委員会及び特別委員会に付託し散会した。

15日に本会議を再開し、各常任委員会

での審議内容について各委員長による報告、請願、追加議案

2件を含む議案の採決を行い、原案どおり可決して閉会した。

9月定例本会議 (9月9日)

「平成26年度一般特別、公営企業会計の決算認定」は、12月までの継続審査とし、決算審査特別委員会に付託した。今議会の傍聴者は延べ6人であった。

工事請負契約の締結

●平成27年度綾川町総合運動公園陸上競技場改修

工事

契約金額

1億4882万4000円

(消費税込み)

契約者

長谷川体育施設(株)

四国営業所

所長 霜 昌憲

履行期間

平成27年9月15日～

平成28年2月29日

補正予算

■一般会計

歳入歳出を2億3580万円増額し、総額95億

1880万円とした。

歳出の主なものとして、

戸籍住民基本台帳事務費

に65万7000円、児童

福祉管理費に1730万

円、認定農業者育成事業

費に970万7000円、町



総合運動公園陸上競技場

医療費用の

増額により、

病院事業費用

14億3389

万5000円

・介護老人保

健施設事業

建設改良費

の増額により、

資本的支出1

171万20

00円

・水道事業

営業費用で、

人員増加によ

る給与費の増額により、

水道事業費用5億926

8万5000円

請願

日本を「海外で戦争する

国」にする「安保法制」関

連法案に反対する意見書

の提出を求める請願書

不採択

特別会計

・陶病院事業

人権擁護委員の推薦同意

任期(平成28年1月1日)満了に伴い、委員の推薦に同意した。

佐川 ふみ子氏(58才)

再任

綾川町西分2097番地5



決算審査特別委員会を設置

12月議会に報告できるよう平成26年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の決算内容を審査する。

【決算審査特別委員】

- 委員長 野中 邦夫
- 副委員長 大野 直樹
- 委員 横井 薫
- 委員 田辺 健次
- 委員 碓石 眞己
- 委員 安藤 利光
- 委員 宮本 勝利

安定的な財政基盤を



代表監査委員の意見 長尾 芳則

行政監査

「枋所及び羽床公民館」における非常用発電設備工事、町道猪尾線「角ヶ内橋」橋梁改修工事、ことடன்新駅整備に伴う町道菅原本線整備事業などの現地踏査を実施し、全ての箇所ですらに施行されてきたことを確認しました。

平成26年度決算額

平成26年度一般会計及び特別会計（公営企業を除く）の決算額を昨年度と比較すると、歳入額で9億5100万円（5.9%）増額の172億1100万円、歳出額でも7億100万（4.6%）増額の158億2400万円となり、いずれも昨年度を上回っています。

なお、本年度の実質収支額は8億4800万円の赤字での決算となっています。

決算監査で気付いたこと

行政の推進を図る上で税金は特に重要な財源であります。昨年度、コンビニ及び郵便局での収納も可能となったことで、

固定資産税や軽自動車税の収納率向上につながっているものと思われ、今後も引き続き納税者の利便性の向上に努めるとともに、口座振替の推進を図ることで収納率向上につなげていけるよう期待します。

一方、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計における給付費の増加ではありますが、保健事業では県下で有数の受診率の高さを誇っていることとは特筆に価することであり、医療費抑制にも寄与しております。

また、介護事業においても介護予防事業の重要性を認識頂き、給付費抑制にご尽力頂けるようお願い申し上げます。

若年層の流出や低出生率による人口減少は、大きな問題であります。定住促進、さらには優秀な人材確保の意味からも、

県外の大学等を卒業後本町での就職を図り、定住の条件を付して、償還金返済に対して何らかの配慮を行うことも、育英事業における今後の研究課

題として頂きたいと思えます。

陶病院

入院患者数は1日平均52・7人で、昨年度に比べ約77%の減少、入院収益も13%の減少です。

一方、外来患者数は、昨年度に比べ1日平均で20・5人（10・1%）増加しております。小児科外来の再開と内科医師の増員が、この大きな要因と考えます。

引き続き、医療スタッフの充実を図り、病床利用率の向上と外来患者数の増加に努め、信頼と納得の得られる医療サービスにご尽力いただきたいと思えます。



陶病院

水道事業

本年度の事業収益は6億1100万円で、昨年度に比べ842万円の増額となっております。一方、営業収益は年間有収水量の減により昨年度より2640万円減少しました。

引き続き、漏水対策として計画的に老朽管等の更新を行い、経営の安定化に努めていただきたいと思います。また、香川県広域水道事業につきましては、十分な情報収集を行的確な状況分析に努めていただくとお願い致します。

財政指標

実質赤字比率（普通会計の実質赤字比率）及び連結赤字比率（普通会計と公営企業を含む）は共に数値が現れず、良好であります。

実質公債費比率は、マインナス数字を示しており、極めて良好であります。将来負担比率（一般会計等が将来にわたって負担すべき実質的な負債比率）においても、該当する数値が現れず極めて良好であります。

介護老人保健施設
平成26年度は、利用者数の減少により事業収益が減収となり、純損失での決算となっております。

今後、安定的な事業経営を確立するため、効率的な事業展開を如何に図ってゆかが喫緊の課題であるとともに、陶病院との連携を更に密にし、利用者及びそのご家族に安心していただける質の高いケアの提供をお願い致します。

今回の決算監査に計上された一般会計、特別会計及び公営企業会計を含む現金の残高（基金を含む）は、2億3500万円増額の113億7800万円。地方債残高は3億8100万円減額となる103億4300万円での決算となりました。こうした財政事情は常に把握し、将来を見据えた中で、より一層安定的な行政の展開が図られますようお願い致します。

綾川町債権の管理等に關する条例の制定

町が保有する債権の徵收等に関し、債権の発生から消滅までに必要な事項について定め、債権管理の一層の適正化を図ることにより、公正かつ円滑な行財政運営に資するよう条例を制定する。平成28年4月1日から施行する。

綾川町個人情報保護条例の一部改正

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき、条例の一部を改正する。特定個人情報情報の用語の定義や取扱い、利用制限等を追加する。平成27年10月1日から施行する。

綾川町防災会議条例の一部改正

綾川町防災会議委員の構成委員に、新たに専門

家や有識者等を加え、委員の定数を定めるために条例を一部改正する。

綾川町災害対策本部条例の一部改正

「災害対策基本法」の一部が改正され、「綾川町災害対策本部条例」の根拠法令の条項が変更になったため、関連改正する。

工事請負変更契約の締結

綾南中学校改築事業で建築主体工事内容に変更が生じたため、平成27年9月1日に戸田建設株式会社四国支店 支店長 北村雅彰氏と消費税込み4957万2000円の増額変更で仮契約を締結した。変更後、17億1574万8000円となった。

主な変更内容は、既存建物の基礎杭撤去数量の増、造成工事における残土処分費の増等である。

綾南中学校改築事業の機械設備工事について、平成27年9月1日に株式会社フソウ四国支社 支社長 原川崇氏と消費税込み378万円の増額変更で

仮契約を締結した。変更後、3億4944万2100円となった。主な変更内容は、給湯方式の変更による設備整備費の増、女子トイレへの擬音装置設置等による増である。

綾南中学校改築事業の電気設備工事について、平成27年9月1日に大電氣工業株式会社 代表取締役社長 長瀬裕亮氏と消費税込み518万4000円の増額変更で仮契約を締結した。変更後、2億9862万円となった。

主な変更内容は、蛍光灯からLEDへの変更による増である。

平成27年度綾川町一般会計補正予算

総務常任委員会関係の歳出は「総務費の総務管理費及び徴税費等における4月の人事異動による人件費の補正」、総務管理費の業務委託料では「新制度構築のための補正」、教育費の事務局費では「旧西分小学校財産処分における、学校施設整備基金の積み立てに係る補正」、小学校費では「管理運営費の県委託事業の

学力向上モデル校事業に係る経費等」、教育振興費では「県補助事業の原資力・エネルギー教育支援事業等に係る補正」、中学校費では「教育振興費の綾南中学校運営充実寄付金に係る学校図書購入費及び原子力・エネルギー教育支援事業に係る補正」、図書館管理運営費では「生涯学習センター運営寄付金に係る図書購入費の補正」である。

学力向上モデル校事業に係る経費等」、教育振興費では「県補助事業の原資力・エネルギー教育支援事業等に係る補正」、中学校費では「教育振興費の綾南中学校運営充実寄付金に係る学校図書購入費及び原子力・エネルギー教育支援事業に係る補正」、図書館管理運営費では「生涯学習センター運営寄付金に係る図書購入費の補正」である。



全体工事完了間近の綾南中学校

問 マイナンバー導入後、町としての業務が増えるのか。

答 住民生活課のマイナンバーの交付、来年1月のカードの交付等があるが、今後番号法に伴う業務量が増えていくと考えられ、簡略化も含め対応していきたい。

問 総務費の業務委託料とは。

答 来年度から始まる職

員の人事評価制度やメンタル部分のストレスチェック等の、要綱の作成や職員の研修等、新制度導入への準備を一括して業者に委託するものである。

平成26年度綾川町健全化判断比率及び資金不足比率

実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、及び資金不足比率については該当無し。実質公債費比率はマイナス0.2%であり、健全に運営されている。

教育委員会関係

綾南中学校改築工事の全体工事工程及び学校運営等について、校舎、武道場は9月17日の竣工を予定。その後、引越作業を行い、9月末から供用開始する。

全体工事の完了は12月18日を予定。給食については、10月7日まで調理器具の試運転、試作調理を実施し、その後生徒への給食提供を行う予定。

■町内学校等施設訪問

綾川町総合運動公園、陶公民館、綾南中学校、綾上支所庁舎（太陽光発電設備）の順に施設等を訪問。

■綾川町総合運動公園

陸上競技場は、トラックの一部について全面を張替え、残る部分について切削オーバレイ又は一部トップコート塗りの3工法により改修予定。陸上競技場第3種の公認を受けるための改修である。

■陶公民館

主な改修箇所は、1階部分ではトイレ及び倉庫、2階部分では、バルコニー及び屋根のウレタン塗装防水、床のタイルカーペット等である。

■綾上支所

太陽光発電装置等の設備による発電及び蓄電で、約3日間の非常時における最小必要量の電気を賄う。

厚生委員会

受領している方は返納することになる。

綾川町が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続きに関する条例の制定

綾川町の一般廃棄物最終処分場の延命化を図り、県への変更申請の前提として本条例を定める。生活に及ぼす影響についての調査結果を公衆の縦覧に供し、また意見書を提出する機会を与えるために、新たに制定するものである。

綾川町手数料徴収条例の改正

10月5日以降、順次送付される通知カード（個人番号が記載されたカード）を紛失した場合の、再交付にかかる手数料を500円と定める。

マイナンバー制度と住基カードの関係はどのようなのか。

答 平成27年10月から通知カードが住民票を有する全ての人に郵送され、平成28年1月から個人番号カードの交付が可能となる。個人番号の交付を

平成27年度綾川町一般会計補正予算

歳出では、マイナンバーカードの事務等にかかる経費等について65万7000円の増額補正。昭和北保育所で行う土曜一日保育について保育室等の改修、及び遊具の購入に要する費用として1024万6000円の増額補正。

平成27年度綾川町国民健康保険陶病院事業会計補正予算

附帯事業における特別事業所加算の算定誤りによる返還金のうち、今年度の精算分として、過年度損益修正損において240万円の増額補正。

平成27年度綾川町介護老人保健施設事業会計補正予算

福祉車両2台について助成申請をしている。補助金の100万円について増額補正。

認知症ケアパスの運用

認知症ケアパスは、認知症の状況に応じた各種サービスや、医療と福祉の連携を一目で分かるように紹介するものである。認知症対策事業の普及を図りたい。

病児病後児保育の利用料金の免除対象児童の拡大

10月1日から、第3子以降で満6歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童、及び第2子で満3歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童が対象となる。

町外の施設での利用はどうなるのか。

答 利用料支給資格証明書は在住の自治体が発行する。町外の施設においても、証明書を持つていれば利用料を支払わなくてよい。

滝宮保育所の建替え

問 滝宮保育所は、築後41年を経過し老朽化が進み、また児童数も増加し手狭になっている。平成28年度から建替えの調査に着手してはどうか。



来年度から事業着手の計画を進める滝宮保育所

本年8月29日から平成28年3月の予定である。

問 PCB汚染物を処理することによる本町への風評被害はないのか。

答 本町内の企業は既に環境大臣の無害化処理認定を受け、平成25年7月より低濃度PCBの処理施設を稼働している。また、県による定期的

答 平成28年度から事業着手の計画を進める。

厚生委員協議会

産業廃棄物処理

県より、県下で唯一の低濃度PCB廃棄物の処理許可業者である、町内の企業に微量PCBの処理を委託する旨の話があった。対象物はロール状廃棄物30tとラガーロープ50t等。なお、検出されたPCBの濃度は0.26mg/kgで、処理期間は

厚生委員協議会 (施設訪問) 7/3

- ① 昭和認定こども園
- ② 陶保育所
- ③ 陶病院
- ④ 介護老人保健施設あやがわ
- ⑤ し尿中間貯留場
- ⑥ 綾川斎苑
- ⑦ 綾上診療所
- ⑧ 羽床上保育所
- ⑨ 滝宮保育所

平成27年度綾川町一般会計補正予算

歳出予算の主なものは、
●経済課関係

「認定農業者育成支援事業補助金」、「農地集積協力金」、「合意形成交付金」は農地機構を活用した貸借意向のある農地面積に応じて交付される単県補助金、「農業振興施設整備補助金」、「集落営農推進強化事業費」の補正、「町単土地改良事業費農地管理費」は町単の小規模災害復旧事業の補助金の補正、「多面的機能支払事業」は対象地区内の現地確認業務関係の補正、「観光振興施設管理運営費」は国道32号線の梅及び滝宮公園、修景整備費用の補正、「農地災害復旧費」は農地及び農業施設の計7件の災害復旧関係の補正、「林道災害復旧費」に要する町単工事費の増額補正」

●建設課関係

「生活道災害復旧支援

費補助金」の増額補正、「町道大橋向原上線」及び「町道中学校線」の測量設計費及び工事費の増額補正。「町道萱原上陶畑線」及び「町道綾川駅前線」の測量設計費、工事費及び用地費の増額補正。

●道路橋梁新設改良費の土地購入費6000万円です。
●その予定である。

●林道災害復旧費については、広域基幹林道の法面の傾斜角では今後も崩落が心配され、その都度町費を注ぎ込んで維持管理を行うのは、厳しいと思われるが。

●現在県と、ネット等の法面保護工事を国庫補助事業で対応することについて協議を行っており、今後、5カ年計画の中で検討していく。

●小規模災害復旧事業の内訳は。

●国の採択基準である工事費40万円に満たない

農業用施設の災害は、現在22件の要望がある。

●報告

「綾南プラザ」平成27年度第19期の4月から8月までの経営状況。「下水道未接続者の加入促進」については、11月末を目前に全戸の訪問を終える予定である。

●平成27年度綾川町水道事業会計補正予算

4月の人事異動に伴う職員1名増による人件費の増額補正。

●広域水道事業に関して県の水資源対策課から水道事業の説明の場を設けては。

●準備している町独自の財政計画を委員会及び全員協議会等、議会に提示して、県の説明及び協議の場を考える。

●建設経済委員協議会 8/4

●現地踏査を実施
●県営経営体育成基盤整

●備事業羽床上東地区（農道戸塩線）
●町道新設改良工事（町道西遠田2号線）
●生活道舗装工事（グリーンヒル畑田地区、矢坪西地区、西北山団地地区）
●下水道布設工事①（綾南第3処理区滝宮44工区）
●下水道布設工事②（綾南第1処理区陶22工区）

●の取扱いについて
③共同食品の綾南プラザからの出資撤退について
④ピンテージ・カーゴの乗用車への改造登録について
⑤下水道事業受益者分担金の債権管理について

●台風11号による、滝宮公園内の河川の災害状況は。

●公園の一部が増水により水没し、その流れでえぐられた状態で、花崗土等により修復を考えている。



町道西遠田2号線

●農道舗装の採択要件が幅員3.0m以上となっている。旧町時代は2.0mとなっていたが、要件を緩和してはどうか。

●現在農道は3.0m以上となっているが、実態を考慮して今後検討したい。

●学校等再編整備調査特別委員会 9/11

●土曜一日保育

●今年5月に認定こども園・保育所の全ての保護者を対象に、費用負担や場所の移動を含めた土曜一日保育のアンケート調査をした所、多くの要望があった。

●現在、土曜半日保育は、全ての施設で実施している。なお、各保育所において一日保育を実施することは、施設運営や人員確保において難しい。そこで平成28年度から、昭和北保育所の跡地を利用して土曜一日保育等を行い、新たな子育て支援の施設として活用したい。

●受け入れ可能人数は何人か。持ち物はその程度持つていくのか。

●2名の保育士で対応できる人数を想定している。持参物については、その都度の対応になる。費用は、一時保育同様別途必要となる。

議会活性化協議会

第10回 7/2

●議員研修の充実強化

議会は、議員の政策形成及び立案能力の向上等を図るため、広く各分野の専門家等とも議員研修会を開催する。

●議会広報の充実

議会は、情報技術の発達を踏まえた多様な広報手段を活用することにより、多くの町民が議会と町政に関心を持つよう議会広報活動に努める。

第12回 8/5

●最高規範性

この条例は、議会における最高規範であって、議会はこの条例の趣旨に反する議会の条例、規則等を制定してはならない。

第13回 8/24

●綾川町議会基本条例全体について、質疑・検討を行った。

展覧、議会の役割及び機能を十分果たせるよう考慮するものとする。

第14回 9/1

●条例「前文」の解説

「前文」は、この条例を制定する背景、経緯、必要性等を示し、町議会の決意を表明したものである。

●条例「総則」の解説

「総則」として、この条例の目的を定めた。この条例は、本町議会の基本的な在り方を定め、町民の負託に応え、町民福祉の向上と豊かな本町の発展に寄与することを規定した。

●条例案、運用指針、解説案などを承認し協議を終えた。

9月9日の全員協議会に資料を提出した。今後、全員協議会で意見を聴取し、条例素案の協議に入る。

問 保育所設置条例における位置づけ、また、ラニングコストはどうなっているのか。

答 昭和北保育所は閉所とし、保育所条例を改正する。5年間は県基金事業にて対応する。

問 日曜保育等について、本来は家庭での子育てに重きを置くべきでは。

答 土曜保育については、仕事上のやむを得ない世帯に対しての限定的な対応である。休日等は家庭での時間を大切にして欲しい。

問 土曜日保育の希望が多い場合、保育士は、増やせるのか。広域入所の子どもは対象か。

答 希望増については、保育士確保次第である。広域入所は、里帰



昭和認定子ども園

り出産とする。

問 年度途中に、満3歳になった翌月からの幼稚園への入園は可能か。

答 幼稚園教育の視点や幼児の発育格差を考慮し、研究する。

問 保育料の減免措置として、第3子の3歳まで無料化となっている。今後の対応は。

答 保護者の負担軽減を検討研究していく。



議会活性化協議会



福家利智子 議員

Q 陶病院医師不足の解消と公立病院の将来ビジョンは

A 医師確保に向け努力する

問 医療の中心を担う医師の確保のため、魅力ある病院施設の整備、技術の進歩に伴う器材の拡充、医療スタッフの充実、処遇面の優遇など総合的な見地からの対策が必要。将来に向けた安定した医療提供と介護、

保健、福祉の包括的なシステムの展開が重要である。医師の確保と公立病院として果たすべき将来ビジョンは。

陶病院としては、地域住民に対する医療サービスの低下を招かないよう、地域の中心的な医療機関として役割を果たしていく。

町長 今後とも香川県・地域医療支援センター共々に医師確保に向け努力する。



今年3月、陶病院に導入された16列CT装置

Q 胃がん健診にピロリ菌検査の追加を
A 胃内視鏡検査を推進する

問 町において胃がんの予防や早期発見のため、胃がん健診時の検査として、ピロリ菌感染の有無を調べる胃がん血液ABCリススク検査を導入してはどうか。

ら、健診受診率アップの取組は。
町長 ABC検査では、一部胃薬を服用中の方などで結果が正しく出ない場合がある。今後も、胃がん健診については、精度の高い胃内視鏡検査による健診を推進し、健診で、医師が必要と判断した場合は、保険診療でピロリ菌検査を実施している。
今後受診率向上のため、広報・無線放送等で健診の周知を図っていく。



建設中の資料館



岡田 芳正 議員

Q (仮称)綾川町主基斎田記念館建設を問う

A 多くの方々に来館していただける記念館となるよう努める

問 大正天皇御即位の折に大嘗祭の儀式に使う新米を皇室に献穀を作る勅定の名誉から100周年を迎え、今年

これらを記念しての(仮称)綾川町主基斎田記念館建設だが、今後どのように活用、管理運営をするのか。

町長 この記念館の有効活用であるが、大嘗祭に係わる主基斎田の資料の保存、展示をはじめ讃岐、香川の米どころとして由緒ある歴史と伝統をもった綾川町の稲作文化を後世に伝える記

念館として設置するものである。学校教育、社会教育、農業振興など各方面に活用して頂くことを考えている。

また、光熱水費、警備、清掃等の施設管理委託料等、年間経費として今のところ約50万円と見込んでいる。今年度中に綾川町主基斎

は、6月21日に秋篠宮同妃両殿下ご臨席のもと主基斎田お田植えまつりが、厳粛のうち盛会に滞りなく終わった。

建設をする限り、真夏の一夜の美しいと感激する大輪の花火と化すような100年記念の資料館で終わらせたい。

また、光熱水費、警備、清掃等の施設管理委託料等、年間経費として今のところ約50万円と見込んでいる。今年度中に綾川町主基斎

念館として設置するものである。学校教育、社会教育、農業振興など各方面に活用して頂くことを考えている。

また、光熱水費、警備、清掃等の施設管理委託料等、年間経費として今のところ約50万円と見込んでいる。今年度中に綾川町主基斎

田記念館の設置
条例を提案し、
議会と協議を
したいと考えて
いる。
施設の運用に



綾川の流水を妨げる白髪淵



三好重徳 議員

Q 人口減少対策

A 職員提案の体制づくり
職員の意見を多く取り入れる
体制を構築する

問 人口減少は待ったなしの重要課題である。思い切った子育て支援、移住・定住の促進を目的とする町外への情報発信等、柔軟な発想が求められる。
若手を含む全職員の、日常業務における小さな改善

案、また本町独自の施策についての案を結集して取り組むべきである。
本町には、職員が行政効率の向上、住民サービスの向上に役立つこと等を提案できる旨の規程がある。

てどのような状況であるか。今後、より多くの提案を募るための体制づくりが必要ではないか。
町長 合併時に制定された職員提案規程は、行政施策や住民サービスの向上を目的として、また職員からの

各種提案を期待して作られたものである。しかし、この規程に基づく提案は数件あったが採用実績はない。人口減少を含む地方創生への取り組みは、本町にとって最重要課題の一つである。現在、各種会合を行い、

基本的方向や具体的施策に関する総合戦略の策定に取り組んでいる。全ての職員が共通の認識を持ち、一丸となって取り組む考えである。
今後、職員の意見を多く取り入れるために、職員提案規程の利用を促進するとともに、別の方法も含めて体制の構築を図る。



第1回まち・ひと・しごと創生会議（8月11日）



井上博道 議員

Q 綾川河道（白髪淵）整備について

A 河川改修事業の早期着手に向けてより強く、関係機関に要望する
考えを問う

問 羽床下地区等の堤防越水・決壊危険性問題の最大原因は、白髪淵の直角形状である。

白髪淵の円弧状化、流れを阻害している堆積土砂及び竹木除去はいつか。町道浦山宮武線が狭すぎで、耐圧的に心配。早急

な拡張が必要。

町長 府中ダム下流の河川改修工事進捗状況を見ながら、府中ダム上流区間の着手時期を判断したい。また、竹木除去時期は、現地を確認して適切に対応すると県から聞いている。町道浦山宮武線の拡張計画は現在

は現在無。綾川河川改修計画の詳細設計時に、河川管理道の整備と併せて検討したい。

Q 水路管理行政の在り方を問う

A 水利組合や自治会等の地元管理者にお願いしたい

問 コミ収集車等による水路破損で、破損当事者が速やかに修理せず、受益者が不利益を被る状況が続いている。官地とも言える、町の所有物である水路が壊された場合、町は破損当事者に対してどのような対応をすべきか。

町長 水路は町が所有しているが、地域密着で公共用に使われているため、従来からの慣習等により、受益者である水利組合や自治会等に維持管理をお願いしている。町への相談は可能だが、本件は、民と民の問題であるため、町からの直接指導はできない。
しかし、水路改修が必要な場合は、条件が合えば土地改良事業の補助制度も活用できる。



安藤 利光 議員

Q 医療費の立替え方式の改善を

A まち・ひと・しごと創生総合戦略への
取組みの中で検討

問 平成23年度から中学校卒業までの医療費が無料になり、子育て世代に喜ばれている。

しかし、子育て支援医療費支給事業は、医療機関窓口で一旦自己負担額を支払った後に、町に申請しな

ければならない。「診療から支給まで2ヶ月もかかる。」等、苦情も寄せられている。子育てしやすい町にするためにも、立替え払い方式を改善しては。

町長 国、県内他市町の状況を踏まえ、子育て支援の

観点から、まち・ひと・しごと創生総合戦略への取組みの中で検討していく。



子ども達の健やかな成長を願って

Q 安全・安心な水道水を

A 安全性を確認している

問 台風11号以後、長柄ダムからの水は長い間緑黒く、泥水以外に泡も浮いて流れていた。綾川は町の水源である。長柄ダム内の1.4ジオキサンの検査結果はどうか。また、平成25年度から事業者がPCB処理の稼働をしているが、PCB対策は

どのように。

町長 平成24年度に綾川河川から検出された14ジオキサンは、県指導により収束した。その後、町は西長柄川や長柄ダムの3点で検査し、安全性を確認した。なお、水道水の結果は広報で周知している。

PCBも、長柄ダム放流口等2定点で測定し、安全性を確認している。

Q 防災士の資格取得に対する補助金について

A 助成等について検討していく

える。人材を育成するため、防災士の養成に町が関与することも必要であると考え。助成等について検討していく。

Q 教員年齢の二極化への対応は

A 指導スキルを伝承する研修の場を設けている

問 ベテラン教員と若手教員の年齢構成の二極化により、様々な問題が出てきて



大野 直樹 議員

問 今後の自主防災組織は消防団と共に、防災士が非常に重要になる。資格取得に対し補助金を用意

する考えはあるのか。また、防災におけるリーダーになり得る若者をどう育てるのか。
町長 地域防災リーダー育成セミナーや防災訓練を行っているが、防災士が加われば、非常時に住民の安全がより一層確保できると考

えている。今後、二極化から生まれる問題にどう対応していく考えか。さらに、登校しにくい生徒の早期発見・早期対応、また不適応児童生徒に対してはどのように対応する考えか。
教育長 「研修」を中心として学習指導スキルの伝承の場を設けている。教育施策に関する要望や提言を発信し続けていく。登校しにくい生徒については関係機関との関係をより強固に築きながら、「自分が好き」と自信をもって言える教育環境を形成していく。



防災士研修会



川崎 泰史 議員

問 専門の民間業者による窓口・受付の設置により、現場ノウハウを学び、ワンストップサービスの実現は行わないのか。

答 完全なワンストップサービスの実現は困難。ただし業務を限定した対応は可

ほかにもこんな質問がありました

民間による窓口業務およびワンストップサービス

問 学校および家庭の中で諸問題解決の支援体制はあるのか。

対応人員増員の計画や意向はあるのか。

それぞれの体制の体系化はどのように考えているのか。

教育長 学力向上に向けた

問 高齢化や文化財の老朽化も進む中、どのように文化財を次世代に継承するの

答 町民の文化意識の高揚を図りながら、次の世代に貴重な文化財や民俗文化が継承されるよう努める。

能。サービス向上は調査検討していく。民間業者の活用についても視察済で、検討したい。

チーム体制を整備。また特別支援教育の研修や実践、情報共有等により、相談しやすい環境づくりを行っている。

スクールカウンセラーは、心に関する対策で規定時間以外にも、臨時的な派遣対応が可能。スクールソーシャルワーカーは、社会福祉士協会から派遣。主に、児童生徒と教師集団をコーディネートする役割。特別支援教育コーディネーターは、特別支援学級の児童生徒への支援や、教師との打ち合わせや相談を遂行。人材確保とスキルアップの必要が

Q 学校諸問題の支援は体制の体系化はどのように

A チーム体制を敷いている人材確保が課題



重要無形民俗文化財 滝宮念仏踊

問 町民の所得は下がるが、国保税は上がるばかりである。国保加入者は少額年金者など低所得者が多い。一般会計からの法定外繰り入れにより、当面一世帯当たり1万円円の引き下げを検討しては。

答 平成26年度、赤字補填分として2500万円を法定外繰入金で対応した。綾川町の一人当たりの保険税調定額は、一般分で県

ある。

児童生徒への対応だけでは不十分で、保護者への相談活動、支援を行っていく。

Q 支援体制と窓口及び情報発信は

A 保護者の立場に立つた施策を

問 窓口の情報発信など、サービスを必要としている人への対応はどうか。また、学校卒業後の継続的サポートも重要。そのような体制はどのように考えているのか。

児童生徒への対応だけでは不十分で、保護者への相談活動、支援を行っていく。

Q 支援体制と窓口及び情報発信は

A 保護者の立場に立つた施策を

平均より4700円低く県内16位である。一方で、一人当たりの診療費は、県平均より1万900円高く県内4位である。一世帯当たり1万円引き下げた場合、3522万円の繰入金が必要になる。慎重な対応をしたい。

教育長 町教育委員会は、情報収集、発信を行い、教員への「研修の機会」提供を行っている。たとえば「綾川町特別支援教育連携協議会」、「綾川町少年補導連絡会」による情報交換。また、情報発信等、保護者の立場に立った施策が必要と感じている。

県の特別支援教育課作成『ネットワークブック』の「教育」「医療」「福祉・保健」「労働」に関連する相談窓口のアドバイス等、県の施策のハブ的役割を果



勉強に励む中学生

たす人材の確保が必要。6段階の支援等、児童の状況に応じた指導を行っていく。

行政視察 研修報告

総務委員会
7/13~15

空き家等の適正管理に 関する条例制定 山形県長井市

山形県長井市は、県南部の人口約3万人の小都市です。西は朝日山系、東は出羽丘陵に挟まれ、その間を最上川が貫流しています。最上川流域に広がる長井盆地には長井市の市街地があります。

平成26年度に条例制定 空き家の相談窓口を設置

空き家の相談窓口を設けたことで、市民から相談を受けやすくなり、根拠となる条例があることで、明確な対応ができるようになりました。

条例の応急処置の規定の適用事例として、倒壊し、住民に被害を及ぼす恐れがあるとして行われた所有者

不明の工場の煙突の取り壊しについて紹介されました。また、市内不動産業者と連携して、定住希望者に居住可能な空き家を紹介しています。

空き家対策は住民議会・ 行政が一体となって

各地区から空き家情報が寄せられると、その老朽危

険度判定を行っています。綾川町も早急に空き家の

特定空き家認定の可否について判定する必要があると感じました。

少人数学級における 指導 山形県村山市

山形県村山市は、東西22km、南北15kmと東西に長く、総面積約196km²、人口2万6811人の県中央部に位置しています。

山形県は、教育山形「さ

います。これは、山形県の教育が皆さんと輝く太陽のように明るく希望に満ち、笑顔が教室いっぱいに広がるようお願いをこめて作られたものです。

「毎日の勉強がよく分かる授業」「いじめや不登校の無い楽しい学校」を目指して、子ども一人一人にきめ細かく指導しています。

特性を生かした授業を

小中学校で1クラス33人以下の少人数学級や、教員の数を増やして指導を行う少人数授業を実施しています。その効果として、不登校の子どもの割合の低下や、学級における一人一人の役割の充実が見られ、子ども同士の思いやりや信頼関係が深まり、学級のまとまりができました。

また、情報化社会の中で生きる子どもたちを通信機器のトラブルから守る取り組みも行われています。村山市の施策を参考に、関係機関に働きかけていきたいと再確認しました。

行政視察 研修報告

厚生委員会
7/15~16

「子育てで日本一のまち」 を目指した取組み 岐阜県大垣市

日本一」を重点プロジェクトの一つに位置付け、子育て支援課とともに、市議会において子育て支援日本一対策委員会（特別委員会）を設置しました。子育て支援条例も制定され、進捗管理・意見聴取・次年度施策について定期的に協議が行われています。

子育てハンドブックを発行

大垣市は、岐阜県の中で岐阜市に次いで2番目に人口が多い市です。しかし、年々進む少子化、家族形態や就労状況・ライフスタイル等、子育て環境の変化を背景に、平成16年度から子育て支援の推進体制の整備を行っています。「子育て

子育て日本一を目指す取り組みは、最高水準の子育て支援を維持していくための目標として掲げられたもので、18歳まで切れ目ない子育て支援策がなされています。特に参考にするべきなの



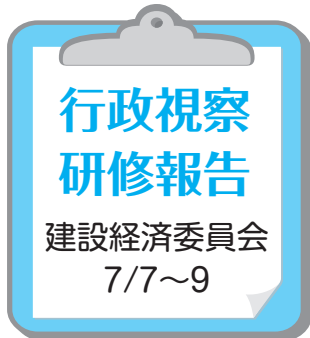
子育てハンドブック



大垣市立北幼稚園（平成26年度開園）

が情報提供についてです。毎年、子育てハンドブックを発行しており、この一冊に18歳までの子育てに関する情報が網羅されています。子育てサービスの種類、内容、助成、問合せ先等について分かりやすく、手元に置いておけば必ず役立つものに仕上がっています。今後、本町においても検討すべき課題を感じさせられた研修で、大変参考になりました。

なお、台風11号の本町接近により、急ぎよ16日、17日の視察は中止としました。



水稲の早期乾田直播栽培技術等について
千葉県農林総合研究センター
水稲・畑地園芸研究所
『水稲温暖化対策研究室』

稲作を取り巻く自然環境の変化や社会的な環境の変化を踏まえ、温暖化等の気候変動が水稲に及ぼす影響の研究、また、米の需給調整に対応した飼料稲等の品種開発、そして、高品質で良食味な米を安定して生産し、かつ、経営耕地規模の拡大、低コスト化、作業の効率化、軽減化等を実現する技術開発を課題として取り組んでいます。

今回は、「温暖化に対応したコメ作り」と、低コスト技術である「乾田直播栽培」についての研修を行いました。

今回の研修で、温暖化対策では、技術的な軽減対策では限界となれば品種改良しかない話が印象的で、「おいでまい」に続く品種改良が必要になってきていると感じました。

乾田直播については、基盤整備をした圃場であることが前提である等、一定の条件が必要となっているが大規模稲作経営農家等には大事な栽培方法であり、大規模化による作付け体系の検討も重要であると思いました。

枇杷倶楽部
(株式会社ちば南房総)
千葉県南房総市富浦町
(道の駅「とみうら」にて)

道の駅「とみうら」は、作ろうとして作った道の駅ではなく、旧富浦町の産業活性化のために、平成2年から取組んでいた、産業振興センター設立の時期に、国の道の駅登録制度ができ、センターが機能を備えていることから登録に至ったものです。

一番大事にしているのは地域との信頼関係

枇杷倶楽部では、「地域産業と文化の振興の拠点、情報発信基地」となることをめざして特産の枇杷の加工事業と商品開発（富浦の誇りであり、富浦を特徴づける産物でもある枇杷の出荷規格外品を素材にした、付加価値の高い加工品の開発・生産に取組みました。作りやすいジャム、缶詰の製造・販売から取り掛かり、その後、ピューレを製造する設備を導入し、ソフトクリーム、ゼリー、アイスクリーム、まんじゅう等様々な商品の開発に成功し、特に、ソフトクリームとゼリーは大ヒット商品になりました。）体験型の観光農業等による観光客誘致と施設整備、地域の情報発信、そして文化事業に積極的に取り組んでいます。一番大事にしているのは、地域との信頼関係であり、一人だけで儲けるのではなく、皆で



道の駅「とみうら」枇杷倶楽部

儲けるような取組みをしています。

道の駅の売上は増え続け、年間を通して多くの観光客が安定して訪れるようになり、道の駅の効果としては、観光客58万人の誘致、約80名の雇用創出、平成26年度では33億円を越える地域への経済波及をもたらしています。ここだけの売上は約3億円ですが、隣にある、猛反発した商店「富浦マート」で約1億円、民間の「お百姓市場」で約3億円、この地域で約7億円の売上になっており、経済波及効果を生んでいます。

今回の研修は、今後の道の駅「滝宮」のあり方、経営改善への取り組み方策について、大いに参考とすべき点があると考えさせられました。いろんな視点からの研究や検討すべき課題が多くあることを感じさせられ、大変参考になりました。

読まれる議会広報

広報研修会

8月11日に開催された香川県広報発行町議会連絡協議会定例会にて、平成26年度の会務、決算、平成27年度の事業計画、予算を承認した。また、会長に宇多津町の西本氏、副会長に当町の安藤氏、監事にまんのう町の白川氏をそれぞれ選任（任期2年）した。

研修会では、(株)羽野編集事務所の羽野茂雄先生から「議会広報を活用しよう」との演題で講演があった。県内8町が発行している「議会だより」を例に、表紙と最終面に力を注ぎ、住民に手に取ってもらうためのレイアウト、やわらかい見出し、読みやすい紙面作りの技術等、詳しくクリニックを受け、議会だよりの発行に大いに役立つものであった。

約4500人もの人で大いに盛り上がる

あやがわサマーフェスティバル

8月16日、綾川町ふれあい運動公園にて、第9回あやがわサマーフェスティバルが開催された。商工会、青年会、各地区婦人会、西分若竹会、アグリネット綾川、さぬきうどん研究会、JA香川県綾坂地区営農センター等、25団体の協力のもと、約4500人もの人で大いに賑わいをみせた。



プログラムは、香川県警察音楽隊による演奏、農業経営高校の拓心太鼓、白鳥太鼓、ガリガリ君早食い選手権等が行われた。また、地元産の米、ぶどう、豚口

あなたも、議会を傍聴してみませんか。

手続きは住所・氏名・年齢を記入するだけです。次の定例会は、12月の予定です。

る度に歓声が上がリ、1200発の大花火大会では盛り上がり最高潮に達した。

宿泊券、町商品券（5万円）等が当たる大抽選会では、当選番号が発表さ

編集後記

残暑の厳しい毎日でしたが、すっかり秋めいてまいりました。

9月議会は、平成26年度決算審査を決算特別委員会に付託しました。

また、各常任委員会に付託された議案について、議員から積極的な意見が出され、町当局もなおいっそう町民の負託に応えられるよう努力する議会となりました。

議会だよりも町民の皆様にあされるよう意気込んでいます。今後ともご愛読をよろしくお願いたします。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 安藤 利光
- 副委員長 大野 直樹
- 委員 三好 重徳
- 委員 岡田 芳正
- 委員 井上 博道
- 委員 福家 功